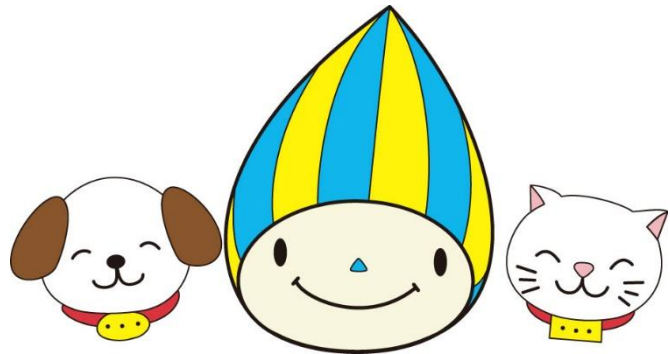




令和3年度 事業概要



動物愛護ミナモ

岐阜県動物愛護センター
(岐阜県野生鳥獣リハビリセンター)

目次

第1 概要

- 1 沿革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 施設の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 組織及び職員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第2 事業の実施状況

- 1 犬猫の譲渡の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 2 愛犬のしつけ方教室等の開催・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 3 動物愛護思想の普及啓発・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 4 被災動物の救援・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 5 地域猫活動支援事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 6 動物介在活動犬の育成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 7 傷病野生鳥獣の保護・リハビリ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

第1 概要

1 沿革

- 平成25年10月9日 建設工事着工
- 平成26年3月14日 庁舎等竣工
- 平成26年4月23日 開所式

2 施設の概要

○開館時間

午前9時30分から午後4時30分まで

(休館日：毎週火曜日、祝日の翌平日及び12月29日から1月3日)

○敷地面積

3,455 m²

○動物愛護センター (木造スレート葺平屋建)

- ・事務室 多目的ホール
- ・飼養管理室
 - 犬：ケージ 5頭分
 - 猫：飼養可能頭数 10頭分
- ・経過観察室
 - 犬：ケージ 5頭分
 - 猫：ケージ 10頭分
- ・検査室 トリミング室
- ・車庫 倉庫
 - 公用車（軽貨物1台） 被災動物用テント3張 等
- ・犬のマッチングスペース
- ・ドッグラン
- ・地域猫施設

○野生鳥獣リハビリセンター

- ・管理棟・飼育小屋
- ・フライングゲージ

3 組織及び職員数

○行政組織（令和3年4月1日現在）

所属長	課	係	主管課
所長 (獣医師)	動物愛護課長 (所長兼務)	管理調整係 ・事務1名 ・非常勤専門職1名	健康福祉部生活衛生課
		動物愛護係 ・獣医師2名 ・衛生技術員1名 ・非常勤専門職2名	

※ 動物愛護センター職員は、野生鳥獣リハビリセンターを主管する環境生活部環境企画課を兼務（管理調整係の非常勤専門職員を除く）

第2 事業の実施状況

1 犬猫の譲渡の推進

保健所に収容された犬猫のうち譲渡に適すると判断された個体を動物愛護センターに移送し、健康診断後マイクロチップを挿入し、手術可能な個体には不妊去勢手術を施した。

新たな飼い主には、飼養方法や動物愛護に関する講習（譲渡前講習）を行ったうえで譲渡した。

また、譲渡3ヶ月後に犬猫の体調や飼養状況、犬の登録や狂犬病予防注射の実施状況などについてアンケートによる譲渡後調査を実施した。

○動物の受入れ・譲渡数

〈犬〉

	受入頭数（うち死亡等）	譲渡頭数（うち不妊去勢手術済）
令和3年度	22（0）	20（16）
令和2年度	21（0）	21（17）
令和元年度	38（2）	34（22）
平成30年度	32（2）	32（19）
平成29年度	38（1）	47（24）

〈猫〉

	受入頭数（うち死亡等）	譲渡頭数（うち不妊去勢手術済）
令和3年度	88（1）	83（35）
令和2年度	77（3）	70（7）
平成元年度	88（7）	81（17）
平成30年度	86（8）	87（11）
平成29年度	115（2）	106（17）

○譲渡前講習実施状況

	回数	受講者数
犬の飼い主向け	35	218
猫の飼い主向け	39	239



譲渡前講習会の様子

2 愛犬のしつけ方教室等の開催

犬のしつけ方に困っている飼い主を対象にしつけ方教室及び個別相談会を開催した。

○しつけ方教室

実施日	講師	参加頭数 (うち6ヶ月齢以下)	受講者数
4.24	家庭犬トレーナー 田口 尚也 氏	4 (1)	8
8.8		4 (2)	5
10.10		4 (2)	10
12.11		4 (0)	7
5.23	ドッグトレーナー 宮腰 裕子 氏	4 (2)	8
7.31		4 (1)	6
6.27	JAHA 家庭犬しつけインストラクター 垂谷 智子 氏	4 (0)	9
11.14		4 (0)	11
9.26	動物愛護推進員 祖父江 和博	3 (0)	6
計		36 (8)	70

※ 1回につき4組を限度として開催

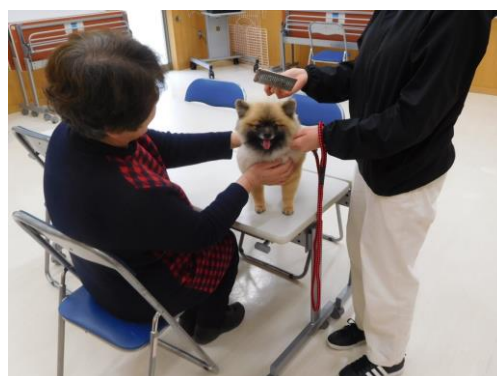


しつけ方教室の様子

○犬の飼い方・しつけ方個別相談

実施回数	参加頭数	参加者数
21	44	95

※ 1組1時間まで、1日3組までで開催



犬の飼い方・しつけ方個別相談の様子

3 動物愛護思想の普及啓発

○動物愛護教室等の開催

動物愛護思想の普及のため、動物愛護センターにおいて動物愛護教室等を開催した。

実施日	内 容	参加者数
5/5	動物のお医者さん体験&ふれあいイベント	中止
7/22	獣医師のお仕事体験	10
8/10	愛護センターのお仕事体験教室	10
9/19	犬のトリミング体験教室	4
9/23	動物愛護センターフェスティバル	中止
11/3	大人の動物愛護教室 「スマホでペットを可愛く撮影してみよう」	10
2/27	犬猫の健康と飼養管理セミナー 知っていますか？動物からうつる病気 講師：すぎやま動物クリニック 杉山幸輝	中止
3/27	愛護センターのお仕事体験教室	9
計 5回開催（43名）		



犬のトリミング体験教室



愛護センターのお仕事体験教室

○出前講座の開催

動物愛護思想の普及のため、県内の学校等に赴いて動物愛護教室を開催した。

実施日	実施校	参加者数
11. 2	揖斐川町立清水小学校	7
11. 5	多治見市立笠原小学校	117
11.10	御嵩町立上之郷小学校	68
11.15	高山市立三枝小学校	42
11.19	恵那市立中野方小学校	21
11.22	中津川市立阿木中学校	27
12. 1	恵那市立長島小学校	66
12. 6	美濃加茂市立太田小学校	211
12. 8	海津市立城山小学校	83
12.13	高山市立荘川小学校	40
12.15	各務原市立那加第三小学校	78
12.17	大垣市立牧田小学校	26
12.21	北方町立北方南小学校	112
12.23	郡上市立川合小学校	21
1. 11	各務原市立那加第一小学校	141
2. 2	高山市立国府小学校	102
2.21	恵那市立大井第二小学校	79
計 17回開催		1,241人



出前動物愛護教室

○夏休み自由研究企画

夏休み自由研究企画として小中学生を対象に、動物愛護についての説明と動物愛護センターの見学会を行った。

実施日：7月30日、8月4日

参加者：21名



○インターンシップ及び職場体験学習

動物愛護センターの業務を理解してもらうとともに動物愛護思想の普及啓発を図るため、インターンシップ及び職場体験学習を実施した。

学校名・実施日	参加者数	内 容
大垣養老高等学校 8.17～8.19	2	・業務内容の説明 ・作業実習 ・施設見学 ・意見交換
大学インターンシップ 8.19	2	・動物愛護に関する講義 ・業務内容の説明 ・施設見学
技術系職員の働く現場ツア ー 1.5	2	・動物愛護に関する講義 ・業務内容の説明 ・施設見学

○広報

動物愛護センターの活動についてSNS・タウン誌・新聞等でPRを行った。

媒 体	報道機関	内 容
新聞（主なもの）	岐阜新聞	「命の架け橋」（月2回） 譲渡後の犬猫の写真及び飼い主のコメントを掲載 イベント案内、開催紹介
タウン誌	咲楽（岐阜地区）	イベント案内
SNS	インスタグラム	譲渡動物紹介・イベント案内

4 被災動物の救援

○啓発及び資材の整備

災害時に動物と避難する際の準備について、譲渡前講習やしつけ方教室等で啓発を行った。

なお、動物愛護センターでは、被災動物救援拠点として被災動物用テント（3張）やケージなどの資材を常備している。

○被災動物救援ボランティアリーダー再講習会

岐阜県内で大規模な災害が発生した際、被災した犬・猫などの「救護活動」を行うボランティアリーダーの再講習会を書面（自主学习）にて開催した。

開催日	内 容	参加者数
1.16	講演：「ペット同行避難時の避難所対応について」 ～ ペット版避難所運営（HUG）ゲーム～ 講師：岐阜県動物愛護センター 坂本貴史主任技師	25名

* ボランティアリーダー登録者数 46名（R4.3月末現在）

本年度の講習会は新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、当センターでのグループワーク形式の講義を中止とし、講義資料を配布しての自主学习形式とした。



被災動物救援ボランティアリーダー養成講習会の様子（令和2年度）

5 地域猫活動支援事業

飼い主のいない猫により生じる地域でのトラブルを解消するため、地域猫活動支援事業を推進した。

○実施内容

- ・自治会からの相談への助言
- ・自治会での説明（依頼に基づく）
- ・保護等ボランティアとの連携
- ・地域猫の不妊去勢手術の実施

<不妊去勢手術実施頭数>

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
岐阜圏域	2 (2)	2 (1)	14 (4)	8 (3)	6 (1)
西濃圏域	—	6 (1)	—	—	3 (1)
中濃圏域	20 (4)	44 (8)	13 (3)	29 (6)	59 (6)
東濃圏域	59 (13)	46 (10)	41 (6)	29 (4)	43 (8)
飛騨圏域	46 (9)	98 (14)	89 (11)	49 (4)	7 (1)
計	127 (28)	196 (34)	157 (24)	115 (17)	118 (17)

※ ()内は実施自治会数

6 動物介在活動犬の育成

医療機関や福祉施設において、ふれあいなどを行うための動物介在活動犬の育成を行った。

○動物介在活動犬の譲渡

譲渡年度	譲渡した犬	譲渡先
令和元年度	しろ（ビションフリーゼ オス）	夢眠かに（可児市）
平成30年度	くるみ（雑種 メス）	八幡の杜（養老町）
平成29年度	もみじ（柴犬 メス）	おあしす明和（多治見市）
	ハウル（トイプードル オス）	フレンドリーおりべ（本巣市）
平成28年度	ポン（シーザーMix オス）	介護 結ぶ（大垣市）
	ちい（ゴールデンレトリバー メス）	ドリーム陶都（土岐市）
平成27年度	ホープ（ゴールデンレトリバー メス）	岐阜老人ホーム（岐阜市）

* 育成中 1頭（雑種 メス）

○犬の訪問活動

育成中の動物介在活動犬の訓練の一環として、希望があった福祉施設の訪問活動を行った。

訪問日	訪問先
9.25	可児市内老人福祉施設（可児市）
3.19	可児市内老人福祉施設（可児市）

7 傷病野生鳥獣の保護・リハビリ

外傷を負った希少な野鳥（クマタカ、ハヤブサなど）等を収容し、リハビリ等による回復ののち、放野を行った。

○収容羽数

年 度	種類と羽数
令和3年度	ハヤブサ1、フクロウ1
令和2年度	フクロウ1、ハヤブサ1、オオタカ1
令和元年度	ハヤブサ1
平成30年度	ハヤブサ1、ハイタカ1
平成29年度	オオタカ2
平成28年度	フクロウ1

8 生物多様性の普及啓発

生物多様性の普及啓発のため、県内の学校等に赴いて野生動物教室を開催した。

実施日	実施校	参加者数
1.12	大垣市立江東小学校	74
1.17	恵那市立大井第二小学校	80
1.31	恵那市立中野方小学校	25
2.1	山県市立大桑小学校	7
2.16	郡上市立大和第一北小学校	12
2.22	高山市立国府小学校	50
計6回開催		248人

